資料5－2

一般国道１８０号 総社・一宮バイパス

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道180号　総社・一宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市北区楢津 至：岡山県総社市井尻野			延長	１５．９km

事業概要

一般国道１８０号は、岡山県岡山市から島根県松江市までを結ぶ延長約170kmの主要幹線道路である。

総社・一宮バイパスは、岡山県南部の中央に位置し、岡山市北区楢津と総社市井尻野を結ぶ延長15.9kmのバイパス事業である。

事業目的は、一般国道180号の岡山市北区楢津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等である。

Ｓ４８年度事業化	Ｓ６３年度都市計画決定	Ｈ元年度用地着手	Ｈ元年度工事着手

全体事業費	約５３０億円	事業進捗率 (H29年度末見込み)	４７％	供用済延長	４．９ｋｍ

計画交通量	14,700～35,300　台／日

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ（3便益）	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 2.5 (残事業) 5.1	273 / 554 億円 事業費：228/495億円 維持管理費：45/ 59億円	1,387/1,405億円 走行時間短縮便益：1,148/1,165億円 走行費用減少便益：160/159億円 交通事故減少便益：79/ 81億円	平成２６年

感度分析の結果

（事業全体）交通量変動　：B/C＝2.2～2.9(交通量±10%)　（残事業）B/C＝4.3～5.8(交通量±10%)
事業費変動　：B/C＝2.4～2.6(事業費±10%)　B/C＝4.7～5.5(事業費±10%)
事業期間変動：B/C＝2.3～2.8(事業期間±20%)　B/C＝4.7～5.5(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
・渋滞損失時間の削減が期待される
・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
・国道180号現道を利用するバスの定時性向上が期待される
・総社市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセス向上が期待される

②物流効率化の支援
・総社市から岡山港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される

③国土・地域ネットワークの構築
・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される（総社市－岡山市）

④個性ある地域の形成
・吉備路・備中国分寺（H27観光入込客数：約51万人）、総社・宝福寺（H27年観光入込客数：約31万人）へのアクセス向上が期待される

⑤安全な生活環境の確保
・死傷事故件数の削減が期待される

⑥災害への備え
・緊急輸送道路である国道180号が通行止めになった場合の代替路線を形成する

⑦地球環境の保全
・CO2排出量の削減が期待される

⑧生活環境の改善・保全
・NOX排出量の削減が期待される
・SPM排出量の削減が期待される

関係する地方公共団体等の意見

総社･一宮バイパスの整備により、交通流動の多い総社岡山間の渋滞緩和、交通安全の確保及び沿道環境の改善が期待されており、岡山市をはじめとする関係４市の首長等で構成される一般国道１８０号岡山県整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流効率化支援等にも資する重要な道路であることから、本事業の早期完成が必要である。

岡山市長の意見：

異議ありません。

一般国道１８０号　総社・一宮バイパスは、岡山市の外環状線の一部を構成するとともに、山陽自動車道吉備ＳＩＣへのアクセス道路となり、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

近年、総社市への企業進出が相次いでおり、地域の雇用が増加している。

総社・一宮バイパス沿線に中四国、近畿の広範囲をカバーする中国地方最大級の物流倉庫が完成。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成30年3月末時点で事業進捗は47%になる見込みである。

現在までに岡山市北区門前～総社市総社までの3.4kmおよび、岡山市北区楢津～岡山市北区一宮山崎までの1.5kmが開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

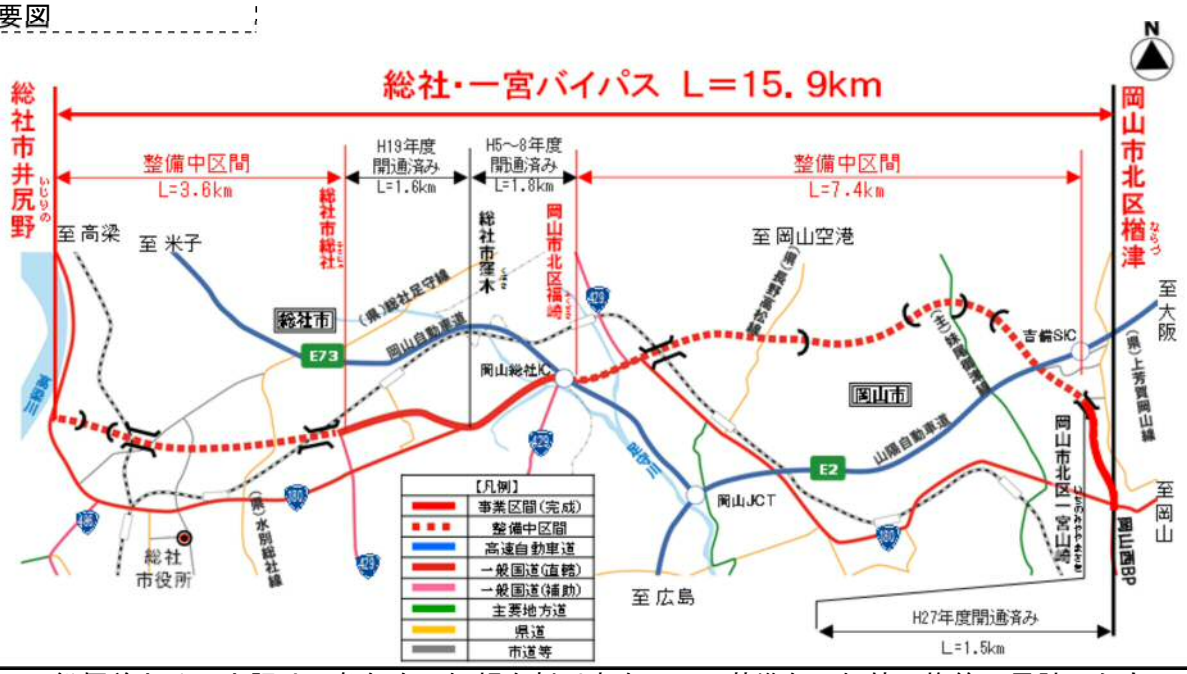
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。
※ 費用対効果分析、環境改善効果等に係る項目は、平成２６年度再評価時点。

一般国道180号　総社(そうじゃ)・一宮(いちのみや)バイパス

事業再評価　要点審議

平成29年9月

国土交通省　中国地方整備局

1. 再評価の重点化・効率化判定票 （道路・街路事業）　一般国道180号 総社（そうじゃ）・一宮（いちのみや）バイパス

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	対象路線沿線市町村の人口　H25.10：779,901人 →H28.10：787,630人（1.0%増） 対象路線沿線市町村の自動車保有台数　H26.3：551,396台 →H28.3：559,832台（1.5%増）	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加		増加無し	10%以内増加
事業費の増加	全体事業費：530億円（H26年度再評価時）　→　530億円（H29年度再評価時）※増加率0%	■	□
事業期間の増加	57年（H26年度再評価時）　→　57年（H29年度再評価時）※増加率0%	■	□
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	費用便益分析マニュアル（H20.11.28）に変更がない。	■	
需要量の変化（需要量等の減少が10%以内）	3,818,466TE/日（H26年度再評価）　→　3,818,466TE/日（H29年度再評価）※増加率0%	■	
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークで新規事業化がない。	■	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	直近3ヶ年の事業費の平均に対する分析費用　0.22%　≦　基準値（1.0%） 前回評価時の感度分析下位ケース　2.2　≧　基準値（1.0）	■	
前回評価で資料の作成を省略していない		■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■	
その他の事由（重点的な評価が必要な特別な事由）	特になし	－	

以上より、審議区分　：　**要点**　　資料　：　**省略**　　費用対効果分析　：　**省略**　　とする。

2. 事業概要

■事業の目的

一般国道180号の岡山市北区楢津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保

■計画概要

起　終　点	起点：岡山県岡山市北区楢津 終点：岡山県総社市井尻野
計画延長	L=15．9km
道路規格	3種1級 4種1級 3種2級
設計速度	60km／h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和63年8月
事業着手	昭和48年度
用地着手	平成元年度
工事着手	平成元年度
全体事業費	約530億円

■進捗状況

用地	４８％
工事	４０％
全体	４７％

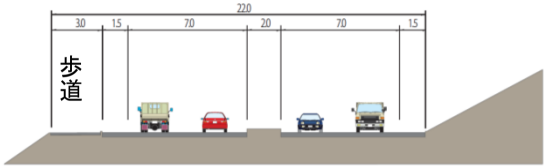
（平成30年3月末見込み）
※総事業費に対する割合

■位置図

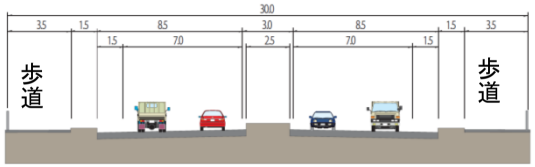
一宮山崎北交差点付近の状況（H28.4撮影）

■標準断面図

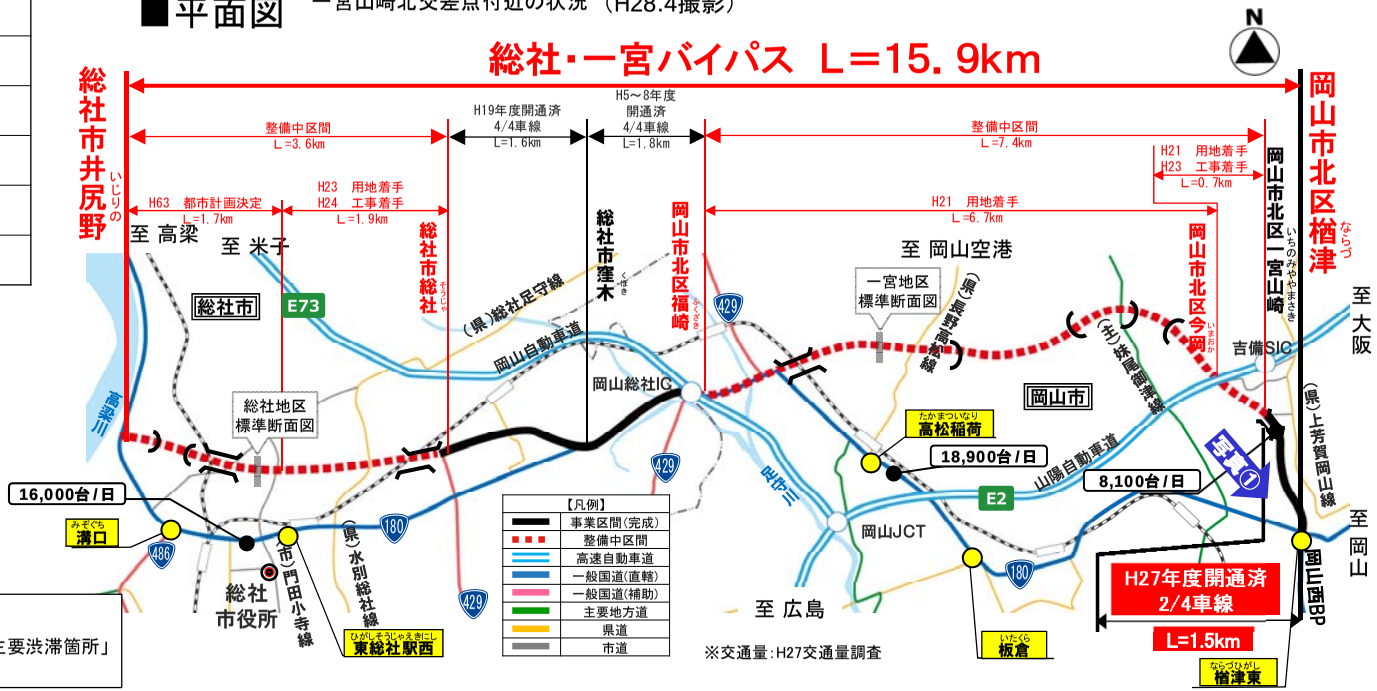
≪総社地区　土工部≫　（単位：m）



≪一宮地区　土工部≫　（単位：m）



■平面図

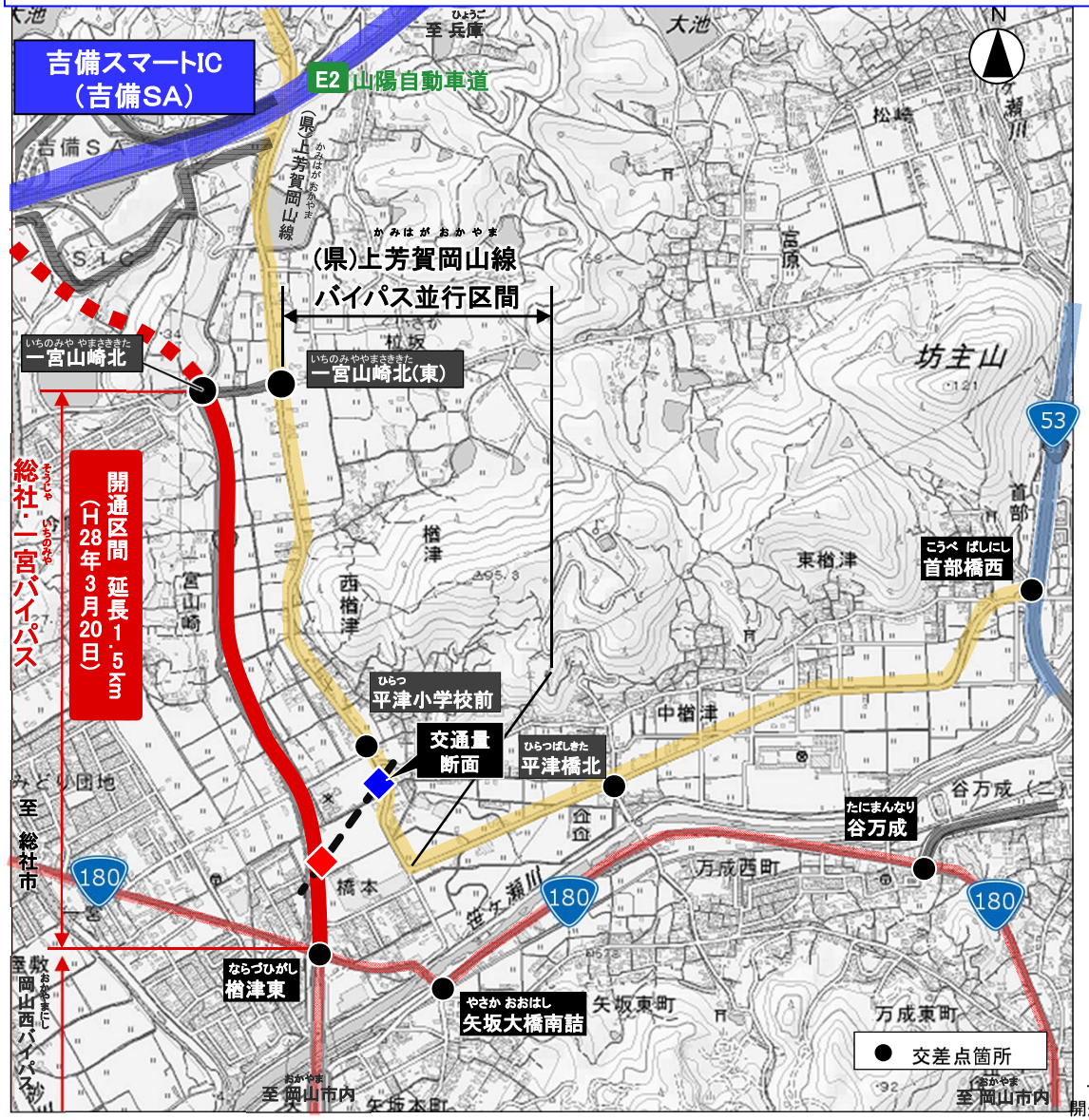


●　：主要渋滞箇所
国土交通省中国地方整備局「岡山県の主要渋滞箇所」
平成28年8月8日時点

3. 開通による効果

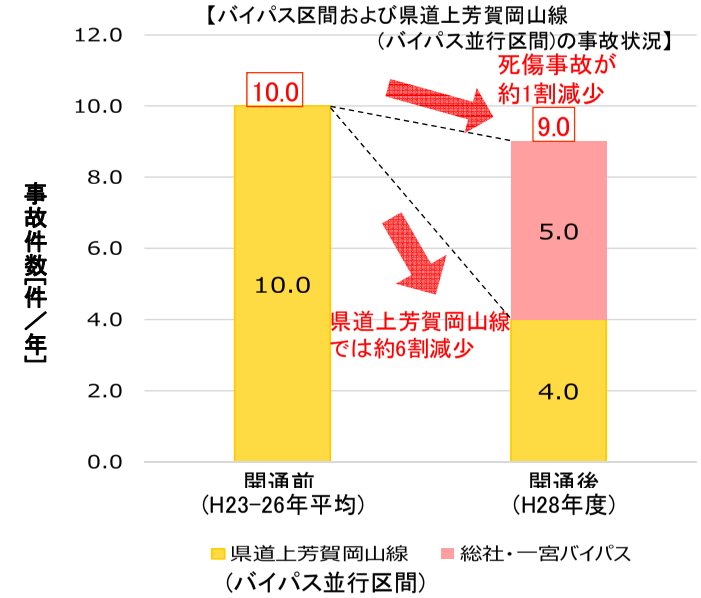
一般国道180号　総社・一宮バイパス

・総社・一宮バイパスの内、岡山市北区楢津から岡山市北区一宮山崎までの延長1.5kmが平成28年3月20日に暫定2車線で開通した。
・バイパスへの交通転換により、開通区間及び並行する（県）上芳賀岡山線における死傷事故が約1割減少した。



地図)国土地理院(電子国土Web)

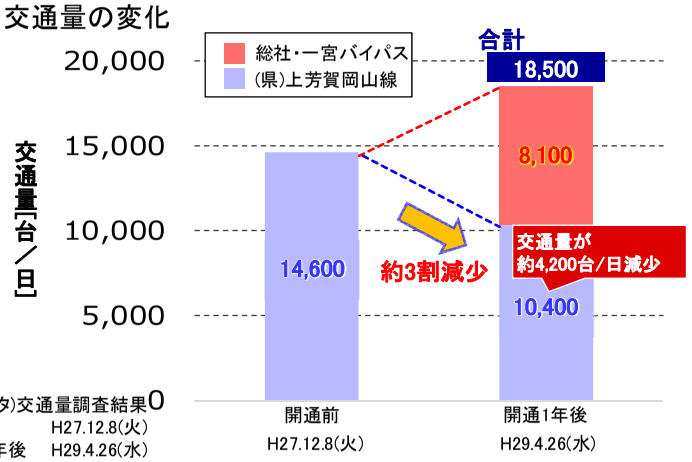
■死傷事故発生状況



■事故件数
開通前：H23年～H26年の年間平均値
開通後：H28年度

出典
開通前：交通事故・道路統合データベース
開通後：岡山県警提供資料

■交通量の変化



データ)交通量調査結果
開通前　H27.12.8(火)
開通1年後　H29.4.26(水)

4. 今後の対応方針（原案）

一般国道180号　総社(そうじゃ)・一宮(いちのみや)バイパス

1．再評価の視点

①事業の必要性の視点

1）事業を巡る社会情勢等の変化

◇社会情勢等の変化はない。

2）事業の効果

◇費用便益比(B/C)= 2.5（事業全体）　5.1(残事業）　←H26年度再評価時
◇道路の役割
　①環境への影響を考慮した効果[約11千トン／年のCO2削減]【5.0億円】※1、2
　②沿道環境の改善［NOX排出量：約38ﾄﾝ/年（0.7%）削減、SPM排出量：約2ﾄﾝ/年（0.8%）削減］※2
　③物流効率化の支援[例）総社市～岡山港までの所要時間短縮約17分（83分→66分）]

※1【】は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)
※2 当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算出

3）事業の進捗状況

◇平成30年3月末時点で用地買収は48%になる見込みである。
　現在までに岡山市北区福崎～総社市総社までの3.4kmおよび、岡山市北区楢津～岡山市北区一宮山崎までの1.5kmが開通している。

②事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2．岡山県・岡山市への意見照会結果

◇岡山県知事の意見：
　一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流効率化支援等にも資する重要な道路であることから、本事業の早期完成が必要である。

◇岡山市長の意見：
　異議ありません。一般国道180号　総社・一宮バイパスは、岡山市の外環状線の一部を構成するとともに、山陽自動車道吉備SICへのアクセス道路となり、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

【今後の対応方針（原案）】

◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

一般国道１８０号 総社・一宮バイパス

〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第４６号
国中整港計第　５号
平成２９年　８月　７日

岡山県知事　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について（ご依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２９年９月６日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

（別紙）

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道２号　倉敷立体	継続	
一般国道１８０号　総社・一宮バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限　：　平成２９年８月２３日（水）までにお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局　企画部企画課

課長補佐　藤原　（内線：３１５３）

施策分析評価係長　守川　（内線：３１８６）

ＴＥＬ：０８２－２２１－９２３１（代表）

ＦＡＸ：０８２－２２７－２６５１

〒730-8530　広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎２号館

技 第 ２ ４ ９ 号
平成２９年８月２２日

中国地方整備局長　殿

岡山県知事　伊原木　隆太

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成２９年８月７日付、国中整企画第４６号及び国中整港計第５号で照会のあった下記事業についての意見は別紙のとおりです。

記

１　一般国道２号　倉敷立体
２　一般国道１８０号　総社・一宮バイパス

中国地方整備局
企画第 10 号
29.8.23

（別紙）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

		事業課名	道路建設課
事　業　名	一般国道２号　倉敷立体		
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である ・ 妥当でない		

（ 意 見 ）

一般国道２号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減、円滑な物流による経済活動の支援、倉敷美観地区周辺へのアクセス性の向上が期待される重要な事業である。

平成２７年３月に倉敷福山道路の一部を構成する玉島・笠岡道路の１期区間が開通し企業立地が進んでおり、利用者から渋滞緩和やアクセス性の向上などに対する期待が高まっているため、平成３１年度での確実な供用を図っていただきたい。

※１ 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※２ 具体的な意見がある場合は、（意見）欄に記載をして下さい。
特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、（意見）欄にその理由を必ず記載して下さい。

※３ 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

（別紙）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

		事業課名	道路建設課

事　業　名	一般国道１８０号　総社・一宮バイパス
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である・　妥当でない

（ 意 見 ）

一般国道180号の交通渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故件数の削減や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流効率化支援等にも資する重要な道路であることから、本事業の早期完成が必要である。

※１　対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※２　具体的な意見がある場合は、（意見）欄に記載をして下さい。
特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、（意見）欄にその理由を必ず記載して下さい。

※３　中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

一般国道１８０号 総社・一宮バイパス

〔岡山市への意見照会と回答〕

国中整企画第４６号
国中整港計第　５号
平成２９年　８月　７日

岡山市長　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について（ご依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２９年９月６日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

（別紙）

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道１８０号　総社・一宮バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限　：　平成２９年８月２３日（水）までにお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局　企画部企画課

課長補佐　藤原　（内線：３１５３）

施策分析評価係長　守川　（内線：３１８６）

ＴＥＬ：０８２－２２１－９２３１（代表）

ＦＡＸ：０８２－２２７－２６５１

〒730-8530　広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎２号館

岡道計第　９５　号
平成２９年 ８月９日

中国地方整備局長　様

岡山市長　大　森　雅　夫

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成２９年８月７日付け国中整企画第４６号、国中整港計第５号で照会のありました「一般国道１８０号 総社・一宮バイパス」の再評価に係る対応方針（原案）に対する意見について、下記の通り回答します。

記

１　意　見　　異議ありません。

一般国道１８０号 総社・一宮バイパスは、岡山市の外環状線の一部を構成するとともに、山陽自動車道吉備ＳＩＣへのアクセス道路となり、岡山市街地の渋滞緩和や地域活性化に大きく寄与する重要な道路であるため、早期供用に向けて整備促進を要望します。

中国地方整備局
企画第 8 号
29.8.15

＜問い合わせ先＞
岡山市都市整備局道路計画課
課　長　　荒　木　昭　彦
ＴＥＬ　086-803-1696
ＦＡＸ　086-803-1727